



2025年度 上期業績

2025年度 上期 業績

売上収益

2兆2,195億円

想定通りに進捗した後発品による減収を反映。
対前年の成長率は下期に好転すると想定

△3.9% 恒常為替レート
(CER) ベース

△6.9% 実勢レート
(AER) ベース

Core営業利益

6,392億円

△8.8% の減少 (CERベース)
△11.2% の減少 (AERベース)

事業運営における効率化の効果により
研究開発費と販売費および一般管理費は
前年同期比で減少

Core営業利益率

28.8%

財務ベース営業利益

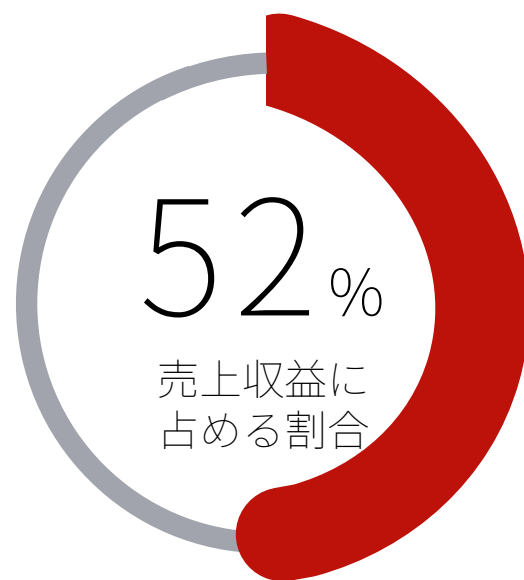
2,536億円

△27.7% の減少 (AERベース)

研究開発パイプラインに対する
戦略的判断に基づく無形資産の
減損損失を含む

2025年度上期業績

成長製品・新製品は+5.3%（CERベース）で伸び、売上収益全体の50%超を占めるまでに。成長率は下期に上昇すると想定



通期業績見通しを修正

通期マネジメントガイダンス

Core売上収益

概ね横ばい

Core営業利益

一桁台前半%の減少

Core EPS

一桁台前半%の減少

Coreベースの通期業績予想

Core売上収益

4兆5,000億円

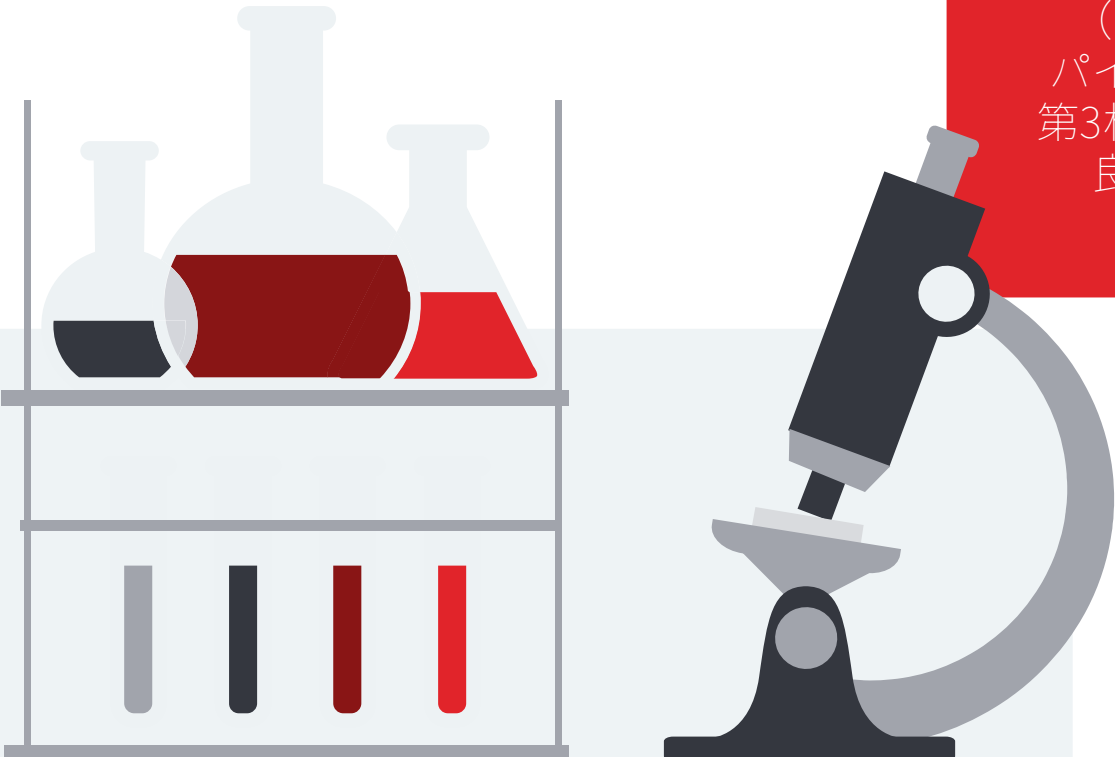
Core営業利益

1兆1,300億円

Core EPS

479円

後期開発パイプラインは進展



オンコロジー
(がん) 領域
パイプラインの
第3相臨床試験で
良好な結果

ナルコレプシー
タイプ1を対象と
した治療薬候補の
2つの第3相臨床
試験で良好な結果

2025年内に、
乾癬を対象とした
治療薬候補の
第3相臨床試験の
結果発表を見込む

これら3つのプログラムの承認申請
を2025-2026年度に実施見込み



本プレゼンテーションには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。重要な注意文言を含む、当社の将来に関する見通し情報に関する詳細については、当社の2025年度第2四半期業績の投資家向けプレゼンテーション

(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

CERベースの増減は、当期の国際会計基準（IFRS）に準拠した業績またはCore財務指標（Non-IFRS）について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。ただし、超インフレが発生し、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」が適用されている子会社の業績についてはCERベースの増減調整は行わないこととし、これら子会社に係るCERベースの増減はIAS第29号に基づいて算出しています。

Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減、純有利子負債、調整後純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フロー、調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2025年度第2四半期決算の投資家向けプレゼンテーション

(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) の末尾にある財務補足情報を参照の上、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。